

## 計算科学 演習 II 演習の夏のプチテスト

樋口さぶろお<sup>1</sup> 更新: Time-stamp: "2013-07-12 Fri 19:25 JST hig"

演習の夏のプチテスト (実施日:2013-07-19 Fri) は次のように行います. 科目の成績 100 ピーナッツ中 35 ピーナッツです. この紙は当日にも配布します.

### ふだんとは別のテスト用アカウント

- Windows のログオンには, その場で配布するテスト専用 ID/Password を使用します. 紙で配布しますが, dreamguest??? が ID, そうじゃないほうが Password です.
- その結果, Q ドライブに保存してあるファイルにはアクセスできません.
- デスクトップ上のショートカットやファイル, Visual C++ の設定や登録済みソリューションなども初期状態になります.

### 非参照

- これまでに作ったプログラムは参照できません.
- 他の受講者や友達や TA と相談できません.
- Web は参照できません
- メールは使用できません
- 紙媒体はなんでも参照できます (本, ノート, プリントアウト, コピー)
- 以下のことについて TA は援助します.
  - Windows にログオン, Visual Studio を起動, ソリューションエクスプローラを表示, まで
  - PC やシステムの不具合への対処
  - R ドライブへの提出方法 (e ラーニングシステムは使いません)

### 開始前

テスト中は偶数番の PC のみ使います. テスト開始までは, 奇数番の端末にふだんの学籍番号/Password でログオンして準備していかまいません. 紙媒体は持込可, それ以外は持込不可です.

### テスト用アカウントでログインします

- Windows のログオンには, その場で配布するテスト専用 ID(dreamguest???) / Password を使用します.
- その結果, Q ドライブに保存してあるファイルにはアクセスできません.
- デスクトップ画像や, ブックマーク, Visual C++ の設定や登録済みソリューションなども初期状態になります.
- Web の閲覧はできません.
- ログインできない場合は TA が対応します. 手を挙げて合図してね.

### Visual Studio を起動します

時間が係るのでまずやりましょう.

スタート > プログラム > プログラミングソフト > Microsoft Visual Studio 2008 > Microsoft Visual Studio 2008  
途中で選択肢が出たときは, **Visual C++** を選びます.

<sup>1</sup>Copyright ©2013 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.  
hig@math.ryukoku.ac.jp, <http://hig3.net> (講義のページもここからたどれます), へや:1 号館 5 階 502

常にファイルの拡張子を表示する設定をします

- デスクトップのコンピュータアイコンをクリックして開きます。
- メニューバーにある整理 > フォルダと検索のオプションを選択します。
- 表示タブを開きます。
- ‘登録されているファイルの拡張子は表示しない’、のチェックをはずします。
- C のファイル名の最後に .c, .cpp が表示されるようになれば正常です。
- 設定できない場合は TA が対応します。手を挙げて合図してね。

問題文を読みます

- 問題は印刷して配布します (予定)。
- 問題を解く上で必要なサンプルプログラム, サンプルデータなどがある場合は, R:\a00010\compsci2\etsuran 内においています。デスクトップの, コンピュータ > R ドライブ > a00010 ... とたどっていきます。
- 読めない場合は TA が対応します。手を挙げて合図してね。

問題を解きます — Good Luck!

ファイルを提出します

最後にまとめて提出するより, 問題ができるたびに提出することをお勧めします。

- 各問題で指定されたファイルを, フォルダ R:\a00010\compsci2\exam0?\dreamguest??? に提出します。dreamguest???はテスト専用 ID。
- 指定のファイル名を使ってください。学籍番号などを追加する必要はありません。
- 提出できない, 提出できたかどうかわからない場合は TA が対応します。手を挙げて合図してね。

## 出題計画

2013-07-12 Fri に詳細化, 確定します。

提出はぜんぶ R ドライブ + (あれば) 紙の手渡し提出。Mahara は使いません。

- 連続値乱数の生成。ヒストグラムと確率密度関数  $p(x)$  を重ねて描く (cont3, cont8.  $E(R), V(R)$  の手計算は不要 (講義のファイナルトライアルほうでやるので))
- 連続値ランダムウォークの確率シミュレーション (sim2)
- CSV から平均値と比率の区間推定 (est3, CSV ファイルでデータを与えるのでプログラムの実行の方法は再現できなくてもいい)